

特15-696 明26.27



1200500783046

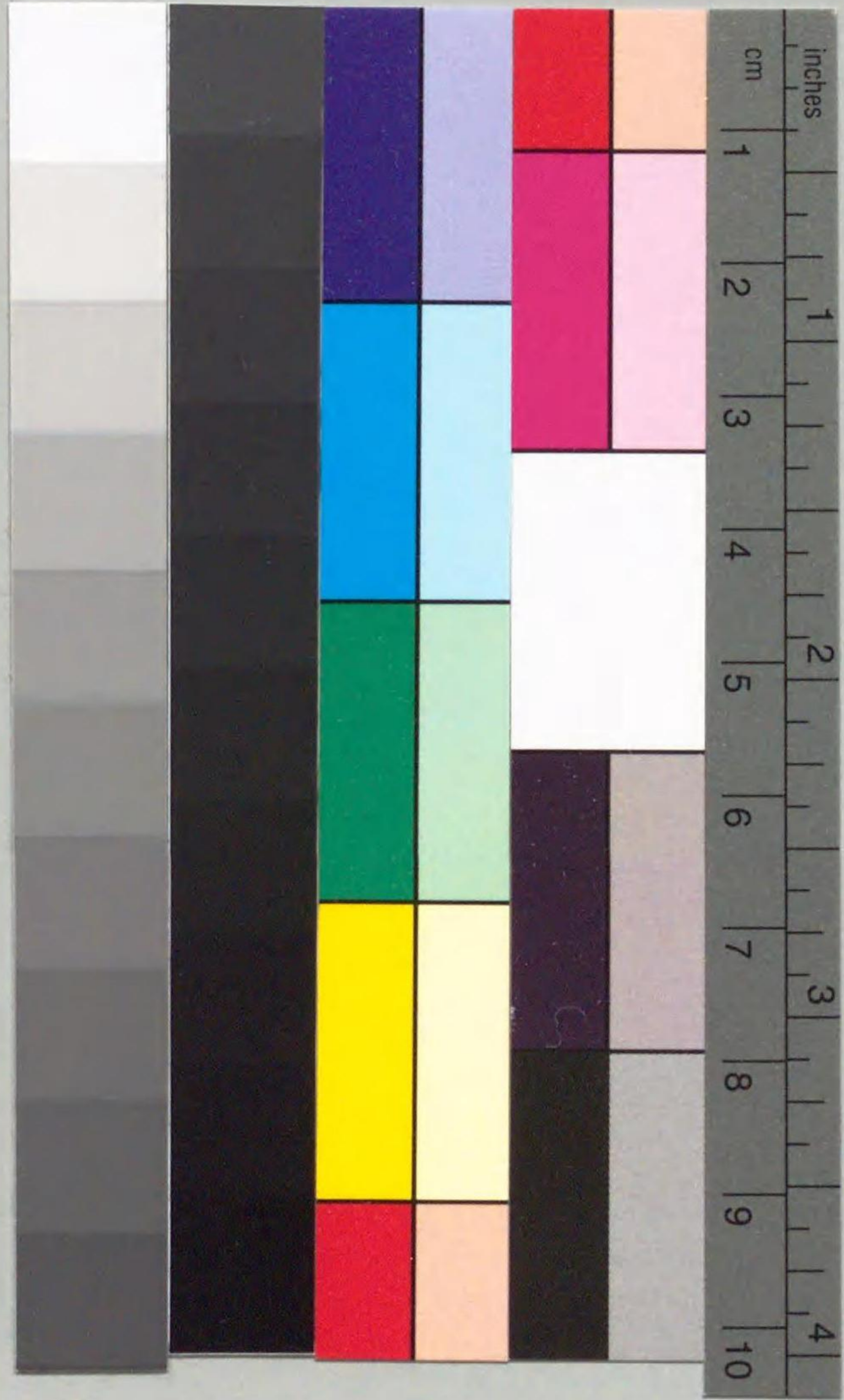
1400



明治廿六年二月十四日内務省許可

あけぼの

神戸少年傳道會



東京大学文学部

支那の歴史

支那

何時ぞやもおはなしいたしましたが支那と申す國は地球上最も古く最も人口多き國でありまして其大さは全地球陸地の十分一に當り其人口は全世界人口の四分の一を占めて居



今日では文明國と申せば先づ歐米諸國を指しますが支那は是等の諸國がまだ開けなかつた前から既に大に學術技藝に進歩して居ました今少し其例を申せば支那人はキリスト降世より一千百年ばかり前に既に航海用羅針盤を發明し又彼世界第一の大連河は歐洲に其術のまを行はれざる先四百年頃に既に開鑿されてをりました其他鑽井、火藥、活版術等の發明も亦支那人が第一番でありました
刑法書の如きも既に二千年來執行して居り又近頃米國が模習しはじめた文官試験の如きも既に一千二百年來施行してゐます

斯く古く開た國でありますから先にも申しました通に歐洲に於ては未だ美術は愚か文字さへ讀めぬ蠻民か北方の海岸に漂住してゐました頃に此方の支那に於ては堂々たる學者

は身には絹布をまとひあたゝか温なる長椅子ながいすに打倚りうちよ美しき模様もやうつきの茶碗ちやわんを以て茶を飲んで

楽しんで居ました實に支那人は古き力ある人種であります

これも何時かお話し、ましたから覺おぼえておるでせうが彼有名なる万里ばんりの長城ちやうぢやうの如ごときは峻けはしき山や深ふかき谷を踰こる長々ながくと一千五百哩にも亘わたり其高さは十五呎から三十呎に及び頂上には六人も馬を並ならべて歩あゆむ事が出来るばかりの廣さだと申す實に驚くべきものであります

が是も紀元前二百年許に築かれたものだそうです
彼支那海の端はしにかけたる石橋は世界第一の大橋でありまして五哩の長さ七十呎の幅はばで七十呎の高さの「アーチ」が三百もあります其欄らんかん子には七十五呎毎一枚の大理石で造つた長さ二十一呎の大獅子を載のせたる柱があります

文 學

これも亦よほど古きものでありましてホングジャンの岩きぎに彫きざまれたる記録は彼アブラハムが神の命によりカナンの地に行きました時より二百五十年も前のものと思はれます又古き書籍の中には禹王の記されたものなりとてダビデ王の時より百年前の時代のものが

残てゐるそうです其國語の字典もキリスト降世の頃既にできてゐたやうに思はれます斯く古くから開けた國てはあります但し極く保守國で何事も自國の物を貴たつび他たとの交通かうつうを好みませんから自然世じねんの進歩しんぱにをくれて遂今日の有様になりました

風 俗

支那の風習は随分面白おもしろひです我國の風俗は多く支那から習たものですから自然じねん似てゐますが歐米各國のとは正反對せいはいたいの事が多くあります

例たと令れいば其羅針盤の針は北を指す代に南を指して居ます而して西洋でなれば南西、北東、と申しますが支那では西南、東北、と申します又支那人はよほど煙火はなびを好みますが多くは白晝ま揚あげるそうです日本では小供こいもが好みて紙鳶たこをのぼしますが支那では大人がのぼして却て小供は傍そばから見て居ます

又私共は人に出遇であつて帽ぼうを取らぬは失禮だと申しますが彼地あちらにては帽を冠るのが却て敬禮になり申す名刺は眞赤まっあかで四呎の長さにするが法です西洋人は挨拶あいさつに御互おたがの手を握にぎります
が支那人は自分の両手を握り合して振ふります

支那の家にて最も大切にする道具は棺くわんであります子は父親に敬愛けいあいを表す爲に棺くわんを呈ていしませしが其時「父万歳」と申して進すすめます而して人の死しました時は棺くわんに納なめて二年間客室きやくまに据すゑ置く事こと奇めずらしくはありません葬式そうしきには通常つうじょう音楽おんがくを奏そうし饗應きやうおうを致いたします

支那人は総して親孝行おやこころからうだと申しますが實にそうでありまして時にはをかしひ程であります

毎年元日には上は万乘ばんじやうの皇帝陛下より下は卑しき賤いぢの男に至るまで男としいへば大人おとなも小供こどもも皆其母を訪まひ其身分みぶんに應じて進物をなし舊年の恩を謝し尙新年の恩恵を頼たのむ美しき習慣しゆはんがありますがおれは小供の時から母の力は生涯しやうがい其子の徳操とくそうに影響いひきやうするものと申す事を教へらるゝからであります支那人の小供こどもも名をつくる法はふもをかしひですもし男子が生れますなれば假に名をつけ二十歳に至り父より新しき名を受けます迄は其名を呼びます女子なれば別に名をつけず生れし順序に由て第一、二、三、どのやうに呼びます朝は「オハヨ」と申す代に「汝は幾歳におなりなざる」と尋るとか又支那人は好みて爪つまのばし置きて四時に至らしめます和共は靴くつを黒くし彼等は白く染めます此外そこのほかまだをかした

習慣も澤山ありますがなほいひ盡せませんから今日は此位でよしませう

○支那童兒の祈禱

支那のタイクタイクと申す市にシャンシー傳道會でんどうかいの設立せつりつしてゐる男子の學校がっこうが御座ござりますが其生徒等せいとはつひ先頃までは恵あまふかき救主のお名をも知らぬ程でありましたが今日では追々信者しんじやが出来ました而して其小供は健氣けんきにも他人の爲ために祈る事を大そう好むやうです或時祈禱會きとくかいに於て一人の教師が誰にても何か格別に祈りたき事なきかと尋ねましたところ一人の小供は「私の教師の小供さんの病氣びやうきが全快ぜんくわいいたしました故感謝かんしやして下さい」と申しました今一人は「私の父は阿片あへんを止めたく思ふて居ますが此方こなたに来て其助を得やうとしてゐますどうか中途ちゆうとにして挫くつけぬやう祈して下さい」と申しました又一人は「私の父はキリスト教を聞きたく思ふて居ますが大そう村の人々に笑はれて困つて居ますどうかそれにまけぬやう神様の御助を求めて下さい」と申しました其他まだ澤山の小供はタイクタイク市中しちゆうに於て阿片を止めやうとして居る人々の爲各熱心に祈りました實に神様は此小供等の祈を聴きたまふて一番始めに願ひました小供の父は丁度其日の午後其處へ来て

阿片を禁止する療法を受けました

○あはれなる小女の話

都より程遠き片田舎に一人の小女がありました。が兄も姉もなく唯一人娘で家に在ては誰一人遊ぶ運もありませんが戸外に出さなければ近處の小供が澤山居ますし犬や豚や菓子賣などが居ますから好みて外に出て溝にはいつたり堀で饅頭を造たりして遊んで居ました。此村は狭き一筋街道でありまして人家は大概土造であります。故夏などは雨が澤山降ります時は屋根にうるさく草が生える事があります。此小女の家も極く小さく穢く唯一室しかありません。加之其半分は火爐としてあります。土間に居なければなりません。其土間と申せば至て寒く濕氣の強ひですから小女は内で遊ぶ時は臥床の上で遊びました。其両親は貧しきものです。ですから家には何も道具としてはなく唯これわれかけた臺一つ椅子一脚床木一つと箸と茶碗二つと蠟燭一本茶器一個鉄鍋一つ眞鍮の皿一つあるばかりです。かゝる殺風景なる家ではありましたが小女にとりては世も二つどなき樂しき内でありまして六歳になりますまで甚幸に暮しました。然し両親は何時までもかく連れて居られませんか

ら誰か良き人があらばやりたひものどそこ、尋ねて居ました。然るに隣村の或婦人が自分の子に配せんため貰ひ受け度き旨申込みました。故直に約束が調ひました。此小女の實母は生來柔しき人であります。から其子を痛みに遇すに忍びず。其足をしめませんでした。たが其姑になる人は是非早くしめ初めねばと申して迫ります。から己を得ず其足をしめはじめました。サアそうすると小女は痛みに堪へかねいつも泣いて居ました。がだんぐやせてモ―他の小供等と共にかけつたり遊びなどする事を好かなくなり。ました。そうかふして居る内に夏が来りました。が不幸にも多くもなき田地が皆水もつかり。まして何も作物ができません。モ―家内の食する物さへなくなり。ました。故両親は何時までも連れて居て餓死させるよりいつそ早く其姑に手渡ししてしまふと思ひ姑の許に遣りました。其姑なる人は誠に慘酷なる人でありました。から小女の足の胞帯を一層かたくしめながら大そう起ち働させました。冬の日の最寒き時にも小山に登りて薪を拾はせたり。します。から遂に其足は凍ゑて死ぬ許になりました。折しも或人か来て天津には英國や米國のお醫者が来て病院を建て、居るが數多の大病人が皆其處で癒されると申しました。實母は之を聞きて小女を連れて

三ヶ月もかゝつて其病院に行きました病院では甲も乙も極親切であり申すし面白き繪や本なども澤山あり未だ嘗て聞ひた事さへなき人形を貰ひますやらよき食物も充分に與へられましたから小女は大そう病院好きになりました

さて其足は大そうくされて居て其指を悉皆切り取らねばなりませんでしたがお醫者さん達は皆切斷してしまひましたそれで足は大そう小さくなりましたが母親は未だモットしめなくてはならぬと申しました然しお醫者さんはどうしても再びしめてはよくなひと申しました併しそれでは彼姑は貰ふてはくれませんか如何しやうと申して心配いたしました故お醫者は愈貰ふてくれぬならばベキンにある女學校に入れて勉學をさせてあげやうと申すればよきキリスト信者の家も貰はるゝ事もあらふと申して慰めました嗚呼そう云ふよき事が御坐りますかと申して大そうよろこびました果して其姑になる人はことわりをいたしました故小女は幸よもペキンの女學校に送られ今年は早四年になりやして讀み書きから裁縫に至るまでよく出来るやうになりましたがそれより尙幸福ある事は其母子共よキリストを愛する者となりました

● 片々

今年春の末夏の始頃でしたか我日本の商船がマイクロネシア近海で破船した事がありましたが其船長は彼ロガン號を借用して船員を乗せ横濱に歸りました其ロガン號は修繕を加へなぞして其受取人の來りますまで暫時品川に碇泊して居ました汝等がマイクロネシアにお送りなされた木綿は其船に積んで行いたのです

● アルノ島に於ける傳道の景況

マイクロネシア群島の一なるアルノ島は凡そ三千ばかりの人口があります而して此島に基督教が傳りましてより未だ僅一年半ばかりしか立ちませんが早教會は二十一も出來ました其傳道師は實に天真爛漫なる小供のやうで眞實なる信仰あるお方で丁度あのキリストの御譽めを受けたナタナエルのやうな人であります今年一月も亦一つの會堂が新築になり申した其會堂は小さくはありますなれどよほど奇麗でありまして柱なども極丁寧に彫り磨き美しき葉形の飾で包であります其壁は種々美しき模様付きの疊のやうなものではりつめてあり申す床の疊は小し組製でありますか講壇のはよほどよい品であります

て前と横には飾が付けてあります而ノ講臺は土耳其製の紅白木綿で飾てありますこんな
立派な會堂が出来た故信者は一同大層喜んで居ります

◎ クオゼリン嶋にキリスト教の傳はりし話

マイクロチシア群嶋ぐんじま中なルーク群嶋ぐんじまに亞つぎて大なるは彼珊瑚嶋さんごでありますが其人口僅二百
人ばかりであります蓋は其群嶋中には草木さへ充分に生長せず人間の住ふ事出来なひ小
嶋が澤山ありますからです此珊瑚嶋のうちにクオゼリン嶋と申すがあります茲に始めて
基督教の傳はりましたのは最も感すべき話であります

今より殆三年前一人の婦人は或嶋に行きキリスト教を聞き信者となり間もなく歸り來ま
してまだ教の六かしい事はよく分りませんでしたか自分の出来るだけ力を盡して教を傳
へました故多くの人々は喜びて其教を聞き偶像ぐわんぞうを廢し日曜日を守るやうになりましたそ
れで會長は小さき會堂を築き人々の禮拜の便に供しました然し教師としてはありませんか
らいつも其婦人が司會をしまして聖書を讀み祈禱をし歌を歌ひなぞいたしました又多く
の人々に文字を讀む事を教へました併し其婦人は學問があると申すのでもありませんか

ら人々は何となふ物足らぬ思をなしどるか教師を得たきものと渴望かつぼうして今度モーニング
、スター號が來たらば必ず行きてドクトルピース氏の生徒を誰か一人つかまへ繋しなぎて置か
んなぞ申して居ました然るに幸今回ラカリン氏が其地に行かる、事になりましたから其
婦人は申すに及ばず嶋民一同は大喜悅であります

田圃人

林純徳太淵

岡山市門田氣邊正十六番地

發行兼藏人

味入山喜登

岡山市山手魚正下目十五番地

半全 目全

目録

昭和二十六年十一月二十五日印刷

明治二十六年十一月二十五日印刷
全 年全 月全 日發行

發行兼編輯人

神戸市山手通五丁目十五番地

和久山喜楚

印刷人

岡山市門田屋敷五十六番邸

林崎將太郎